

指定管理者の実績評価シート

令和3年5月(平成29年度～令和2年度実績)

施設名	フローラルガーデンよさみ		
主管部課等名	都市政策部公園緑地課		

(1)指定管理者の概要

指定管理者	コニックス株式会社		
所在地	名古屋市中村区太閤四丁目6番22号		
管理体制	統括責任者1名、統括副責任者2名、ガーデンスタッフリーダー1名、ガーデンスタッフ10名		
指定期間	H29.4.1～R4.3.31	指定方法	公募
管理業務の内容	施設管理業務、植栽地管理業務、施設等の修繕業務、運営業務		

(2)運営状況

行事・講座等	よさみガーデンマルシェ、ボタニカルアート教室、陶芸教室、庭仕事講座			
サービス向上への取り組み	様々な講師を招いて本格的な庭づくり講座を実施した。園内の管理等を充実させ、花と緑があふれる公園としてより良いサービスの提供に努めている。地区との連携を図り、活躍する場を提供できている。			
利用状況	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
ミニSL利用状況	36,221	31,581	31,772	14,248
講座参加人数	1,074	770	589	357

満足度アンケート	概要	実施時期:平成29年4月～令和3年3月(毎月) 実施方法:フローラルガーデンの庭仕事講座参加者へアンケート用紙を配布・回収 設問:講座受講者に講座に関して「関心を持った」「少し関心を持った」「少し関心を持たなかった」「関心を持たなかった」から選択			
	結果	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	回収率(%)	81.0	100.0	80.0	100.0
	「関心を持った」「少し関心を持った」の割合(%)	100.0	100.0	100.0	97.0
	上記への対応状況	「すぐに役立つ内容で勉強になった」、「また参加したい」といった高評価を得ている。また、講座ごとに実施されるアンケート結果に基づいて、改善と工夫をすることで数年にわたり満足度の高い講座を実施することができている。			

モニタリング実施結果

主な問題点及びその対応状況	ポケモンGOをやるために来園している人達が、スマホを見ながら大勢歩いているため危険だという意見が寄せられた。そこで、園内での状況を確認し、歩きスマホ禁止の内容の掲示物を追加で貼り出し、併せて園内放送でも必要時に呼びかけをするようにした。(H30)
利用者からの反応及びその対応状況	花が沢山咲いていてきれいな一方で、遊具や木陰ほしい、という意見があった。これを受けて、遊具の増設は難しいが、樹木等の日よけになるような場所を今後順次増やして行きたいと考えていると回答した。(H29)
事故内容及びその対応状況	ミニSL乗車時、親子連れの母親が両手一杯に荷物を持って乗車していた為、バランスを崩しSLから落下する(怪我はなし)という事例が発生した。そこで、乗車時は荷物置き場に手荷物を置くよう声かけすることを徹底することとした。(H30)
その他特記事項	「よさみガーデンマルシェ」は年間25,000人以上が訪れる人気のイベントとなっており、また、園内適正な管理運営がなされており、その結果、市民からよい評価を得ている。

(3) 収支の状況

収支の状況(単位:円)		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
収入	指定管理料	44,980,520	45,004,280	45,235,000	45,559,000
	利用料金	1,245,700	1,073,546	1,051,700	695,200
	その他	5,626,177	5,643,648	5,406,308	4,114,343
	収入(計)	51,852,397	51,721,474	51,693,008	50,368,543
支出	事業費	2,461,456	1,676,143	2,242,140	1,437,743
	管理運営費	13,130,176	12,846,587	14,421,072	13,883,459
	人件費	24,208,442	21,598,812	22,548,588	23,213,343
	その他	10,851,601	12,976,828	10,855,766	10,518,225
	支出(計)	50,651,675	49,098,370	50,067,566	49,052,770

(4) 総合評価

評価項目	判定
法令等の遵守	B
適正なサービスの提供(苦情対応・アンケートなど)	B
運営状況(協定書、事業計画書等に沿って運営されているか)	B
施設の利用状況(稼働状況、事業計画の達成度など)	B
管理経費等の収支状況(経理状況や経費節減の取組み)	B
自主事業の実施状況	A
施設の維持管理状況	B
保守管理の実施状況	B
総合評価	判定
評価の理由	自主事業の満足度や施設の利用率が高く、適切な管理状態が保たれているため、今後も継続が望ましい。
	B

(4) 総合評価の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「－」とする。

- A: 協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。
- B: 概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。
- C: 協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。
- －: 実施していない。